

# ぴっぷ議会だより



4月7日 比布中央学校入学式・進級式

義務教育9年間を一貫して行う「比布町立比布中央学校」が誕生し、初めての入学式と進級式が開かれました。新1年生29人と後期課程に進級した新7年生21人の新たな門出を祝いました。

緊張の面持ち  
新しい生活にドキドキ

- 2 審議結果「第1回定例会」ほか
- 4 一般質問
  - 植西 浩一 議員 良佳村事業について / 農業振興について
  - 安藤 裕子 議員 ヤングケアラーの実態と支援について
  - 遠藤ハル子議員 「生活保護の申請は国民の権利」となっているか
- 7 令和4年度各会計予算審議
- 12 委員会の活動



## 令和4年度各会計予算など議案21件を審議

3月7日～10日

# 第1回定例会

3月7日から10日に開かれた令和4年第1回定例会では町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。議案21件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～6ページに掲載しています。

### 規約の変更

#### ◆上川町村等公平委員会共同設置規約の変更

新たに「上川中部福祉事務組合」が加わることから同規約を変更するものです。  
【原案可決】

### 条例

#### ◆比布町まち・ひと・しごと創生基金条例の制定

国の認定を受けた「比布町地域再生計画」に掲げる事業を推進するため同基金を設置するものです。  
【原案可決】

#### ◆比布町議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例

定住自立圏の形成に関する協定の廃止に伴い、議決事件から削除するものです。  
【原案可決】

#### ◆比布町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例

◆比布町個人番号の利用及び特定

個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

#### ◆個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

法律の改正等に伴う条例改正です。  
【原案可決】

#### ◆「グリーンパークぴっぷ」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

施設の使用時間を午後5時までに改めるものです。  
【原案可決】

#### ◆比布町教育研究所設置条例の一部を改正する条例

義務教育学校開校に伴う文言整理のための条例改正です。  
【原案可決】

#### ◆比布町体育館等条例の一部を改正する条例

町民テニスコートの夜間照明について、これまでのカードによる取り扱いを廃止し、1時間単位で使用料を徴収するため条例を改正するものです。  
【原案可決】

### 補正予算

#### ◆一般会計(第10号)

#### ◆後期高齢者医療特別会計(第1号)

#### ◆介護保険特別会計(第4号)

#### ◆観光事業特別会計(第1号)

#### ◆簡易水道事業特別会計(第2号)

#### ◆公共下水道事業特別会計(第2号)

補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。  
【原案可決】

### 意見書を提出

第1回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

#### ◆国立病院の機能強化を求める意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

#### ◆地球温暖化、海水温上昇に伴う

令和3年度各会計補正予算（第2回臨時会）
<p>一般会計（第9号） 216万7千円の増（総額41億2,253万3千円） ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対策費の増ほか</p>
令和3年度各会計補正予算（第1回定例会）
<p>一般会計（第10号） 692万9千円の増（総額41億2,946万2千円） ■まちづくり応援寄附金の増ほか年度末精査による増減</p>
<p>後期高齢者医療特別会計（第1号） 増減なし（総額7,127万7千円） ■一般会計繰出金の増による予備費との調整</p>
<p>介護保険特別会計（第4号） 364万2千円の増（総額6億662万4千円） ■介護サービス給付費の増ほか</p>
<p>観光事業特別会計（第1号） 1,089万7千円の減（総額1億4,205万3千円） ■リフト使用料の減ほか</p>
<p>簡易水道事業特別会計（第2号） 1,761万7千円の減（総額2億3,003万2千円） ■簡易水道等施設整備事業の減ほか</p>
<p>公共下水道事業特別会計（第2号） 655万9千円の減（総額6,697万6千円） ■下水道施設整備事業の減ほか</p>
令和3年度各会計補正予算（第3回臨時会）
<p>一般会計（第11号） 880万円の増（総額41億3,826万2千円） ■企業版まちづくり応援寄附金の増ほか</p>
<p>簡易水道事業特別会計（第3号） 増減なし（総額2億3,003万2千円） ■一般会計繰入金の増、雑入の減</p>
令和4年度各会計補正予算（第3回臨時会）
<p>一般会計（第1号） 9,931万4千円の増（総額38億5,331万4千円） ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対策費の増ほか</p>



水産漁業被害の解明と支援策を  
求める意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、環境大臣

◆水田活用の直接支払交付金見直しに関する意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

## 第2回臨時会

2月4日

◆令和3年度一般会計補正予算（第9号）  
補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。

【原案可決】

## 第3回臨時会

3月30日

◆令和3年度一般会計補正予算（第11号）  
◆令和3年度簡易水道事業特別会

計補正予算（第3号）

◆令和4年度一般会計補正予算（第1号）  
補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。

【原案可決】

ロシアによる  
ウクライナ侵攻に抗議する決議

比布町議会は、令和4年3月30日、第3回臨時会において「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を総意をもって可決しました。

みなさんも

議会を傍聴しませんか

議案などの資料も  
用意しています！

第2回議会定例会は6月中旬に開会します。  
くわしい日程は無線放送等でお知らせします。  
傍聴の際はマスクの着用をお願いします。



## 良佳村施設 今後の計画は

村中町長

### 観光施設としての強みを生かし、町内へ好影響が生まれる方策を検討したい



植西 浩一 議員

#### ① 良佳村事業について

■ 質問・植西議員 観光事業の目玉でもあるスキー場を含めた良佳村事業について、どのように残していく計画をされていますか。

■ 答弁・村中町長 来場者減少の悩みがある一方、人口約3、500人の町に、年間30万人ものお客様を迎え入れられるエリアがあることは強みでもあります。これを生かし、町内へ好影響が生まれる方策を検討していくべきと考えます。

□ 植西議員 集客により、町内に何らかの経済効果があると思いますが、詳細な調査をしていますか。

■ 村中町長 具体的な調査はしていませんが、個々のお店からは影響があると聞いています。

□ 植西議員 良佳村内での入場料以外の収入を調査していますか。

■ 村中町長 金額は把握していません。また、そこで消費活動を高めるには、工夫が必要かと思えます。

□ 植西議員 辞書に「観光」という言葉は、日常では経験できないことをすることとありますが、大きなお風呂だけではないものを用意しないと、集客は減少していくのではないですか。そういう意味ではスキー場での集客は大切であり、施設内で消費活動を作り出すことも大事ですが、何か計画はありますか。

■ 村中町長 センターハウス内で町内のスイーツを販売するイベント等を検討していました。また、観光施設でもありますが、町内の雇用も含めて観光事業を進展させようと思えます。

□ 植西議員 農業振興について、もっと町として独自の財政支援をするべきではないかと思えます。今後議論が進んでいく有機農業への支援も含めて考えを伺います。

#### ② 農業振興について

■ 村中町長 町独自の支援としては、農地流動化促進対策事業やスマート農業推進事業を実施しており、これらの事業は先進的なものとして認識しています。また、昨年、国において「みどりの食料システム戦略」が打ち出され、持続可能な食料システムの構築に向けて「2050年までに目指す姿」が示されました。有機農業については、現在は日本型農業直接支払制度の中の環境保全型農業直接支払交付金において支援しています。

□ 植西議員 農家が農産物に付加価値をつけずに、そのまま出荷販売するのはもったいないため、このままでは農家は魅力的な職業とは言えなくなるのではないかと本州から来られた料理人などが話されていました。また、近隣では本州に販売ルートを持った方が農業を営んでいる事例もあります。このように付加価値を開発していかないと、魅力が生まれないのではないのでしょうか。

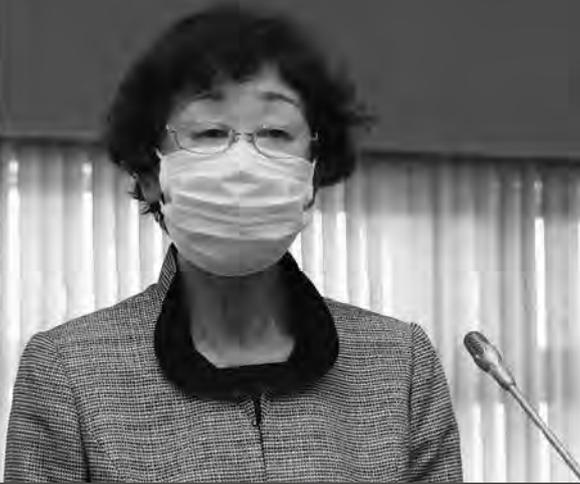
■ 村中町長 農産物に付加価値をつけるということは大切なことだと思います。例えば細かなニーズに合ったお米を作ることでも付加価値を生むように思います。

□ 植西議員 農業費の約2割が農業以外に割り当てられ、また特定財源を除くと、3割程度しか自主財源がありません。自由に使えるお金が少ないと新しいものを開発するのは非常に大変だと思います。

■ 村中町長 農地流動化対策事業など国の財源が入っていない自主的な事業もあります。しかし、農業費全体からすると額は小さいかもしれません。基幹産業の観点から自主財源は多く配分していません。

□ 植西議員 上川農業試験場との連携で新しい生産物の生育環境を整えていくことも大切だと思えます。

■ 村中町長 上川農試は有効に活用していきたいと考えています。また、比布の農業の強みと弱みを分析しながら、農協と協議し、町の基幹産業として発展させていきたいと思えます。



安藤 裕子 議員

## ヤングケアラーの調査と 支援計画の考えはあるのか

村中町長

### 「困りごと」への支援体制を整えた 実態に近い調査ができればと考える

□質問・安藤議員

ヤングケアラーの実態と支援について、町長に伺います。

ヤングケアラーとは、障がいや病気によりケアを必要とする家族を抱え、家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもを指す言葉ですが、2017年総務省による実態調査のオーダーメイド集計によると、15歳から19歳のヤングケアラーは全国に推計3万7,100人との報告があり、少子高齢化、ひとり親家庭の増加によりヤングケアラーにも増加傾向が見られるようです。

令和3年3月に文部科学省と厚生労働省が発表した「ヤングケアラーの実態に関する調査結果」によれば、中学2年生の約17人に1人がヤングケアラーの実態にあり、全国に10万人のヤングケアラーがいるという推計が成立することになります。ヤングケアラーの中には、自覚のないまま家族をケアする子どもも多く、そのような中、行政の支援が十分に進んでいない課題があります。

ヤングケアラーは未成熟な世代であり、介護に関する支援の情報を入手するすべもなく、教育、進路、その後の人生への影響が大きいことから、教師、教育委員会、スクールカウンセラー、民生委員、介護

計画に携わっているケアマネ等、いわゆる教育と福祉が情報共有を図り、支援のために連携すべきと思います。

今、コロナ禍の中でヤングケアラーの存在が見えにくくなり、声が届きにくくなっているのではないのでしょうか。町長に伺います。

①国は自治体の実態調査を勧めるよう促していますが、比布町では調査を行ったのでしょうか。

②ヤングケアラーという社会問題について、町としての支援計画がありますか。

■答弁・村中町長

①については、町独自の实態調査は行っていませんが、昨年8月に北海道が全道の中学2年生及び高校2年生を対象とした統計調査を実施しています。本町の個別状況を把握することはできませんが、全道の中学2年生の3.9%が何らかの理由で家族のケアをしていると回答しています。

②については、ヤングケアラーに特化した支援計画は策定していません。本町においては、個別の問題としてはなく、いじめや不登校、虐待などの重要な「困りごと」の一つとして捉えています。

平成20年に設置された「比布町要保護児童対策地域協議会」において関係機関が連携し、問題解決

に向け取り組んでいます。また、3年度から「いちごっ子応援会議」を立ち上げ、より多角的な視点での支援が行えるよう、その体制づくりを進めています。教育と福祉の連携を図り、子どもたちの「声」をしつかりと拾い上げ、相談できる体制の整備と周知にも努めていきます。

□安藤議員 遅刻、早退、体調不良、学力の低下、孤立、そのような中に介護の問題が隠れていないでしょうか。ぜひ町独自の調査を行っていただきたいと思えます。また、困り感を持っている子どもたちの進学や就職、自立への道が断たれることのないよう、そして、支援の一つとして、同じような悩みを抱えている児童生徒が気軽に話し合える「しゃべり場」的な場所の提供や町外に引っ越したとしても見守り続け、支援が途絶えることのないシステムができることを願っています。

■村中町長 ヤングケアラーについては、現状できる範囲で実態に近い調査ができればと思っております。いちごっ子応援会議は、要綱を定めて運営しており、その会議の中で、一人ひとりに寄り添った対応、また、町外に出ても見守り続けられるような仕組みについても研究していきます。



# 生活保護の申請は国民の権利となっているか

村中町長

## 町に決定権はないが、一人ひとりに寄り添った丁寧な対応に努めたい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

新自由主義のもと、自己責任論が強まり、今の生活から抜け出せない人へのやさしさの手が差し伸べられていません。この2年、コロナ禍のもとで生活保護受給者が増えています。

厚生労働省は「生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるので、ためらわずにご相談ください」とホームページでメッセージを発信しています。

そこで町長に、以下の点について質問をします。

- ①生活保護を受けたいとする方が役場窓口に来た時の対応について。
- ②自治体対応がその後の人生を左右する大事な時に、水際対応がされることも起きています。丁寧な対応をしていますか。
- ③民生委員の意見書が必要との誤った対応が一部の自治体に残っているといます。比布町は求めていますか。
- ④扶養照会は義務ではないとの通達が来ていると思います。

■答弁・村中町長

①受給を希望される方が窓口に来られた際には、制度の説明と併せて、世帯構成や収入状況、預金額等について聞き取りを行い、受給

要件に該当するかどうかの確認を行っていただきます。要件を満たしている場合は、必要書類の提出をお願いし、申請書類一式を北海道上川総合振興局へ進達しています。聞き取り時点で保護基準を上回る預金額や収入があるなど明らかに要件を満たしていない場合には申請しても却下される可能性があること、また、収入減少などにより状況が変われば改めて申請できることなどもお伝えし、申請するかしないかの判断をいただいています。

②町には生活保護の決定権はありませんが、受給の可否がその後の生活に大きく関わるといふことは重々承知していますので、不利益となることがないよう、慎重かつ丁寧な対応に努めています。

③民生委員の意見書の提出は求めています。

④令和3年2月26日付厚生労働省社会・援護局保護課事務連絡「扶養義務履行が期待できない者の判断基準の留意点等について」では、一律に扶養照会を行わなくてもよいとするのではなく、「扶養義務履行が期待できない者」と判断された場合に限られると考えます。

□遠藤議員 自治事務である「生活保護のしおり」手引きを発行する考えはありますか。

「生活保護のしおり」手引きを発行する考えはあります。

■村中町長 決定権限のある北海道が発行するものがあれば窓口には置いたり、公共施設に置いたりすることはできると思います。

町としては窓口に来られたときには、例えば預貯金があったり、収入があっても、本人の希望があれば申請手続きはしますので、町としても最善を尽くした窓口対応をしていることをご理解ください。

□遠藤議員 確かに北海道が決定するという扶養照会ですが、やはり生活保護を受ける方に寄り添った行政をしてほしいと思います。

■村中町長 これは生活保護だけではなく、福祉全般で窓口対応していかなければいけませんので、生活保護の専門というよりも、福祉全般でのスペシャリスト、そういった人材の育成、職員の配置というのにも必要かと思っています。



# 令和4年度各会計予算審議

令和4年度各会計予算は、議長を除く議員7人で構成する予算特別委員会（委員長・今井明信副議長）を設置し、3月8日に審議を行いました。委員会では各委員から事業に対する質疑や意見などが出され、活発な議論が展開されました。

定例会最終日の3月10日に今井委員長から委員会における審査結果の報告があり、原案のとおり可決しました。

## 令和4年度会計別予算

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	37億5,400万円	38億1,300万円	▲1.5%
国民健康保険特別会計	5億4,801万円	5億4,914万円	▲0.2%
後期高齢者医療特別会計	7,028万円	7,128万円	▲1.4%
介護保険特別会計	5億7,866万円	5億7,443万円	0.7%
観光事業特別会計	1億7,347万円	1億5,295万円	13.4%
簡易水道事業特別会計	1億7,336万円	2億4,435万円	▲29.1%
公共下水道事業特別会計	5,590万円	6,725万円	▲16.9%
合計	53億5,368万円	54億7,240万円	▲2.2%

### ▽使用料及び手数料

【谷口委員】町営住宅について、民間アパートも含めて空きがあるということは、逆に移住促進のチャンスととらえることもできる。SNSに加えて紙媒体でも魅力を発信してはどうか。

【まちづくり推進室長】紙媒体の発信については、子育てパンフレットがあり、現在改訂作業をしています。また、観光パンフレットの中でも移住定住情報を掲載していきますので、町外向けに発信していきます。

### ▽総務費関係

【安藤・植西委員】会計年度任用職員について、最低賃金は守られているか。また、作業服を貸与するべきではないか。

【作田副町長】賃金については、最低賃金を上回っています。防寒着等は貸与しているケースもありますが、作業服の貸与はしていませんので、業務内容によって検討する必要がありますと思っています。

【大熊委員】情報化、運動と食など町が力を入れている分野に専門知識を持った人材の採用予定と、現職員にはどのような人材育成の取り組みを行っているのか伺いたい。

【作田副町長】新年度、技術を持った一般職を採用予定です。現職員に対してはクレイン付きトラックや大型車の免許取得に支援していますが、情報処理関係の対応については非常に苦慮しています。

【植西委員】防災無線は電波が途切れたり、故障等の際には都度職員が対応していると思うが、光ファイバーを活用し、各家庭にタブレットを配置するなどの方法に替えていくことはできないか。

【まちづくり推進室長】防災無線は災害等による停電時には受信機の電源が電池に切り替わって受信できることが最大のメリットです。こういった事態に対応できることを踏まえた更新の検討が必要となります。なお現在、保守は業者委託しています。

【村中町長】防災無線の役割にはアラートとの連動もあります。新しい仕組みについては、これから検討する必要があると思っています。

【安藤委員】 新年度からリフォーム費用の補助が始まると聞いているが、補助の詳細を聞かせてほしい。

【まちづくり推進室長】 町民の方、町外から移住される方を対象に所有する戸建て住宅、または空き家を購入する場合に、そのリフォーム費用について補助します。詳細は新年度に協議して、決まり次第広報紙等で周知します。

【大熊委員】 運動と食による脳の活性化事業について、プロジェクトチームの進捗状況を聞かせてほしい。

【まちづくり推進室長】 食の部門、運動の部門にわかれて検討を進めています。現在は子どもを中心に事業が行われていますが、新年度は、高齢者や現役世代の方々も対象とした事業展開を進めます。

【植西委員】 町民がインターネットを正しく使うための知識や能力を身につけることのできる機会を設けてはどうか。

【総務企画課長補佐】 現在、NTTが光回線の整備を進めており、インターネットの講習会のような機会の開催を要望しています。

## ▽民生費関係

【遠藤委員】 社会福祉法人の2事業者に対して赤字補填をしていることについて今後も必要と思うが、必要書類の提出や指導、援助体制など、町との関係はどのようになっているのか。また、訪問介護の減少により働く人の収入減への対応は。

【保健福祉課長】 必要な書類については両法人から提出いただいております。定期的な話し合いを行い、経営改善の進捗を見守りたいと考えています。収入減の件については、月給制のため減収とはなりません。

【澁谷委員】 社会福祉法人への補填が赤字額の9割という理由は。

【保健福祉課長】 一定程度法人にもご負担をいただきながら改善への支援を進めていきたいという協議の結果です。

【谷口委員】 ぴびたくについては、新年度より利用対象者の範囲を拡大することだが内容は。また、車両は1台で足りるのか。

【保健福祉課長】 療育手帳のB判定、精神福祉手帳の2級、3級を対象にしたい考えです。車両は足りるかと考えていますが、不足する場合

などは地域交通体系の見直しの中で検討します。

## ▽衛生費関係

【安藤委員】 不妊治療助成事業について、今年の4月から保険適用になると聞いたが、町の助成事業はどのような取り扱いになるのか。

【保健福祉課長】 まだ正式な通知はありませんが、保険適用となった場合は、自己負担分に対して助成していく形になります。

【安藤委員】 新たにプラスチックの収集が開始される場合、町の財政負担はどのようになっていくのか。

【税務住民課長】 廃プラ循環のための新しい法律ですが、現在、対応施設の検討を一部事務組合を構成する4町で行っている段階です。

## ▽農林業費関係

【谷口委員】 ぴっぷいちご振興事業について、昨年度に比べて予算額が大幅に減額になっているが、冬いちごの生産性が向上したのか。

【産業振興課長】 100周年の記念

事業の予算分の減額です。冬いちごの実証栽培予算に変更はありません。

【植西委員】 農業者の法人化に対する支援や新しい作物栽培への初期的な助成、作物ニーズの調査、景観作物の導入などの考えは。

【産業振興課長】 法人化への金銭的な支援は考えていません。作物の導入などについては、生産者の考えを最優先し、関係機関と連携しながら、所得向上につながるよう進めます。

【谷口委員】 カーボンニュートラルに関する事業は森林関係予算が重要になってくると思うが考えは。

【産業振興課長】 森林関係予算は重要と考えます。森林環境譲与税の活用も視野に入れ事業を検討していきます。

## ▽商工費関係

【谷口委員】 地域ふれあい館はコロナ禍で閉鎖となっており、設備関係は正常なのか。ライダーの情報発信基地としてしっかり整備してほしい。

【産業振興課長】 毎年春に点検して

いますが、閉鎖が長引き使用されていないため、正常である保障はありません。

【村中町長】今後、公共施設として今のままのライダーハウスとして運営していくことに疑問を感じていますので、使用方法について議論が必要と思っています。

## ▽土木費関係

【安藤委員】6号道路の除雪について、道幅が狭く対向車が来たときは止まってやり過ごす状況との声を聞かが車道を広げることは可能か。

【建設課長】確認して対応を考えます。

【榎西委員】住宅の雪を道路に出すことよって道幅が狭くなること散見されるが、どのように対応しているのか。また、除雪費用を求める必要があると思うが考えは。



幼児向け運動教室



ぴびたく号



水難救助訓練



春のゆきやま突哨山散策ツアー

【建設課長】毎年、広報紙で周知しています。暖気による落雪の処理を有料で行うことはありますが、道路に出した雪の処理で料金をいただくのは難しいと考えます。

【村中町長】大雪の際も通行できる状況なので、そこまで厳しい指摘はしなくてもいいと思います。冬の通行は一層気をつけてほしいです。

【谷口委員】6号道路の街路樹について、冬の道幅を確保するなら撤去、景観を楽しみたいなら道幅を我慢するしかないと思うがどうか。

【建設課長】街路樹については現在検討中であり、地域の意見を聞きながら決めたいと思います。

## ▽消防費関係

【榎西委員】町内で消火栓や防火水槽が不足している場所や改修が必要

要な施設はどのくらいあるか。

【消防署長】消火栓は今後10基ほど設置する予定です。防火水槽は数か所、改修が必要になる場合もあると思います。

【村中町長】水道の供給量には限りがありますので、防火水槽、河川などの水利と組み合わせる考えていきます。

【谷口委員】現在の消防職員数は定員に達しているのか。また、年齢の偏りはないか。計画的な採用が必要ではないか。

【消防署長】大雪消防組合として定められており、各署の定員は決まっています。比布消防署は現在15名ですが、管理職において年齢に若干の偏りがあります。

【村中町長】ご理解をいただければ、一時的に15名を超えた採用を行い、将来的に平準化したいと思っています。

## ▽教育費関係

【遠藤委員】新しく始まる大人向けの芸術鑑賞について、予算規模の説明を。また、予算を増額することも視野に入れて実施してほしい。

【生涯学習課長】道内で活躍される方など、町民からご意見を伺って実施する想定で50万円としています。基本的には予算の範囲内で実施したい考えです。

【安藤委員】高校就学応援事業について、支給額3万円の基準と使途について説明を。

【生涯学習課長】現在実施している高校生の医療費助成が平均で2万円、この事業で3万円、合わせて5万円応援させていた、多く内容です。使途は自由で基準日を設定し申請を受け、保護者口座に振り込む予定です。

【大熊委員】この町からスポーツ選手が生まれるよう、幼少期からの運動をさらに充実させてほしい。

【生涯学習課長】現在実施している幼児、小中学生の運動教室を継続して、運動機能の向上や運動を好きになってもらえるよう進めていきます。

【濫谷委員】スポーツ選手の育成について、スキー場のある町として地域おこし協力隊制度を活用して指導者を養成する考えは。

【生涯学習課長】他町での事例はありますが、現状では難しいところです。

【村中町長】スポーツ選手のセカンドキャリアの課題も聞くところですので検討していきます。

【植西委員】旭川市ではいじめ事件を受け、市長直轄の第三者委員会設置の動きがあるが、町内で完結されない事件を想定し、こういった組織との連携が必要ではないか。

【北川教育長】本町ではいじめ防止基本方針により関係者の共通理解を図っており、新たに町立学校づくりの指針を策定し最終的な責任の所在を明らかにしていますが、旭川市も含め近隣町との連携についても考えていく必要があると思っています。

## ▽国民健康保険 特別会計

【遠藤委員】子どもの均等割負担軽減についての考えは。

【保健福祉課長】軽減の拡大は検討していませんが、運営協議会の中で議論し、必要となれば実施したいと思います。

【村中町長】全道の流れを情報収集してスタンダードな仕組みになるかを見極めてから検討します。

## ▽介護保険特別会計

【遠藤委員】特養など介護施設利用者の補足給付費の見直しにより2万円以上の負担増になった。安心して介護が受けられるように、制度の見直しを国に求めていくのか。高額負担になり空室が増えるのではないかと危惧する。特養を守ってほしい。

【保健福祉課長】国の制度に基づいて行っています。施設からの要望がありましたら検討します。

【村中町長】国の制度とおり進めさせていただきますが、町民の方が困っていることがあれば、できるだけ助けるのが福祉と考えますので、今後の状況を見ていきます。

## ▽観光事業特別会計

【谷口委員】使用料予算額に少しでも近づけるように次シーズンに向けての考えは。また、SNSやYouTubeなどを活用して、行ってみたいと思わせることが大切と考えるがどうか。

【産業振興課長】近郊の方、学校授業の場、自衛隊の訓練の場としてなど基本的なスタンスは変わりませんが、SNS等で興味を引く取り組みにも努めていきたいと思えます。

## ▽簡易水道事業 特別会計

【植西委員】公営企業会計移行の進捗状況、料金改定の予定、水道管の早期更新などの考えは。

【建設課長】固定資産の調査を実施し、新年度は地方公営企業適用の委託業務を行う予定です。料金改定は考えておらず、水道管の前倒し更新についても必要ないと考えています。

## ▽公共下水道事業 特別会計

【植西委員】ブラックアウトの際に下水道のバックアップ電源の課題が生じたが、対応は完了しているか。

【建設課長】発電機2台と運搬用のクレーン付きトラックを購入し完了しました。

## ▽総括質疑

【遠藤委員】ゼロカーボン宣言を浸透させるためには、専門性のある人材が必要と考えるが、人材、担当部署をどのように考えているか。また、町民が楽しみながら脱炭素に貢献できる活動を例示してほしい。

【村中町長】専門的な部分は大学などと連携して知識、知恵の共有をしていきたいと思えます。本町でも温暖化が原因とみられる影響がありますので、少しずつですが有機農産物の活用や公用自転車の活用などに取り組んでいきます。町民に対しては、今年度作成する計画の中で協議して、楽しみながら環境問題に貢献できる事業も考えられればと思います。



**【植西委員】** 町長、教育長の執行方針をもっと積極的に伝え、町民と目標を共有し、全員で目的を達成できれば「最幸」の町になると思う。また、未知、不確実、不安定な時代の中、町長の政治判断によって前進していくことを期待したい。

**【村中町長】** オール比布の体制でまちづくりを進めたいと考えています。政策や町の計画については広報紙、予算については「今年の予算の使い道」を発行していますが、見ていない方もいらっしゃると思います。伝える力は非常に大切ですので、今後も発信に努めたいと思います。コロナ禍においてもできることを一歩一歩確実に、まちづくり計画の理念に近づけるよう頑張ります。

**【今井委員】** 町内の交通体系の議論は少し前進していると思うが、比布駅周辺を核としたコミュニティをつくるなど、今のうちから高齢

グリーンパークびっぶ



者人口の増加に対応する交通体系を考えてもらいたい。また、来年以降の指定管理のあり方を含めた良佳村全体についての考え方を伺いたい。

**【村中町長】** 交通体系については、昨年のまちづくり懇談会において案をご提示し、大きな反対はなかったと感じています。道北バス路線の変更も伴いますので、市街地の方々の意見も必要と思っています。駅周辺を核としたコミュニティについては同感するところです。

遊湯びっぶの指定管理については、新型コロナウイルスの影響によって正確な分析ができない状況にありますが、最初の議論は、町として必要な施設か、必要のない施設かをはっきりさせたいので、今後の議論になると思っています。良佳村には多くの方に訪れていただいていますので、この強みを生かせるように今後議論していきたいと思っています。

3/10

## 議員説明会が開かれました

3月10日に、北海道初のプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」を運営する株式会社VOREASの池田憲士郎代表取締役社長から、「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス（旧比布中学校）」のリニューアル計画について説明を受けました。

活用した「生涯活躍のまちの推進事業」の取り組みとして支援していきます。

説明会では池田社長から、今後のプロジェクトの理念や具体的な計画などが熱く語られ、各議員からは質疑やチームに対する激励の言葉がかけられました。

同社では現在、町内外から多くの皆さんが集い、コミュニケーションの場として利用できる施設として、「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」の改修を計画しており、町は同社と相互の包括的な連携協力のもと、旧比布中学校を専用練習施設として提供しているほか、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）制度を

4月9～10日に行われた入替戦に敗れ、惜しくもV1昇格は逃しましたが、今後の活躍と改修計画の進展に町議会としても期待をしています。



株式会社VOREASの池田憲士郎代表取締役社長（左）と木下瑛博マネージャー



# 委員会のactivities

## 活動

### 総務常任委員会

2月4日開催

- 【生涯学習課】
- 《協議事項》
- 第2回議会臨時会提出議案

### 総務常任委員会

2月24・25日開催

- 【税務住民課】
- 《報告事項》
- 町税等の収納状況（1月末）
- 上川広域滞納整理機構の収納状況
- マイナンバーカード交付状況
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案
- ◇令和3年度一般会計補正予算案
- ◇令和4年度一般会計予算案
- 【保健福祉課】
- 《協議事項》
- 第1回議会定例会提出議案

- ◇令和3年度各会計補正予算案
- ◇令和4年度各会計予算案
- 《その他》
- 新型コロナウイルス接種状況
- 2月10日現在、2回接種91.6%、3回目8%
- くるみ保育園新園舎建設計画延期について
- 再開時期未定となる。

### 【生涯学習課】

- 《報告事項》
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
- 令和4年度児童生徒数と学級編制数（予定）
- 義務教育学校における進捗状況
- 図書館クリスマスイベント
- 令和3年12月1日～26日、93名参加
- 巡回小劇場「和太鼓の三味線」和心ブラザーズ
- 令和3年12月14日、2公演（低学年、高学年）
- 令和4年（第73回）成人式
- 1月9日、27名参加（うち、オンライン1名）
- 令和4年度社会教育年間行事予定
- 第43回全町女性バレーボール大会
- 令和3年12月5日、6チーム参加
- 指導者向けコーチング講習会
- 令和3年12月9日、20名参加
- 町民スキー・スノーボード教室



町民スキー大会

- 1月4日～6日、子ども90名、大人6名参加
- 第52回町民スキー大会
- 3月20日開催

### 《協議事項》

- 第1回議会定例会提出議案
- ◇比布町教育研究所設置条例の一部改正案
- ◇比布町体育館等条例の一部改正案

- ◇令和3年度一般会計補正予算案
- ◇令和4年度一般会計予算案
- 【総務企画課】
- 《報告事項》
- 第1回議会定例会提出議案
- 令和4年度地方財政対策
- 令和4年度各会計当初予算案
- 「ゼロカーボンシティ」宣言
- その他

- ◇明治安田生命保険相互会社との

- 包括連携協定
- ◇高度無線環境整備推進事業
- ◇町有地、空地・空き家の状況
- 令和3年8月1日現在、221件（納屋含む）
- ◇特定空き家3件の進捗状況
- ◇旭川比布同郷会総会・懇親会の中止

### 《協議事項》

- 第1回議会定例会提出議案
- ◇令和3年度一般会計補正予算案
- ◇規約の一部改正、条例の制定と改正
- ◇令和4年度一般会計予算案
- 予算概要表、職員給与費
- 《その他》
- 株式会社 Another Works 民間複業人材との協働に関する連携協定
- ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス（旧比布中学校校舎・体育館）の改修について

### 総務常任委員会

3月10日開催

- 《協議事項》
- 意見書の審査
- ◇国立病院の機能強化を求める意見書

## 総務常任委員会 3月30日開催

【総務企画課・生涯学習課】

《協議事項》

■第3回議会臨時会提出議案

## 産業建設常任委員会 2月28日開催

【産業振興課】

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和3年度各施設の利用状況

■令和3年度商工業振興関係支援補助

◇商工業振興補助事業 5件

◇ご当地特産品開発支援事業 1件



冬いちごと千本ねぎ

■地方創生臨時交付金事業  
◇「支え合おう！ぴっぷの元気づくり商品券」給付事業  
商品券利用率98・7%、食事券利用率95・6%（最終実績）

◇商工業振興補助事業（新型コロナウイルス感染症対策型）  
19件 707万8,732円

◇ぴっぷの観光受入体制支援事業

◇ぴっぷの観光応援事業

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇「グリーンパークぴっぷ」の設置及び管理に関する条例の一部改正案

◇令和3年度各会計補正予算案

◇令和4年度各会計予算案

▽農林部門

《報告事項》

■令和4年度産米「生産の目安」

■水田リノベーション事業

■ぴっぷいちご振興事業（3期目）の経過

■ぴっぷいちご誕生100周年記念事業

◇ぴっぷいちごサイダー事業経過

■水田活用の直接支払交付金の制度見直し

■地方創生臨時交付金事業

◇比布町農業持続・発展支援事業の周知報告

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和3年度一般会計補正予算案

◇令和4年度一般会計予算案

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和3年度各会計補正予算案

◇令和4年度各会計予算案

【農業委員会】

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和3年度一般会計補正予算案

◇令和4年度一般会計予算案

## 産業建設常任委員会 3月10日開催

《協議事項》

■意見書の審査

◇地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

◇水田活用の直接支払交付金見直しに関する意見書

## 全員協議会 2月4日開催

【総務企画課ほか】

■第2回議会臨時会提出議案

◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業について

## 全員協議会 3月30日開催

【総務企画課ほか】

■第3回議会臨時会提出議案

◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る補正予算についてほか

■ お世話になります ■



事務局長 丸谷 一真

4月1日付けの人事異動で議会事務局に着任しました。よろしくお願いいたします。

# 議会のうごき

## 2月

- 8日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 第2回議会臨時会 (役場、全議員)
- 10日 上川町村議会議長会定期総会 (旭川市、議長)
- 15日 上川中部福祉事務組合議会全員協議会 (当麻町、組合議員)
- 21日 上川中部福祉事務組合議会臨時会 (当麻町、組合議員)
- 24日 総務常任委員会 ~ 25日 (役場、委員・議長)
- 28日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)

- 10日 議員説明会 (役場、全議員)
- 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 20日 自民党北海道第六区選挙区支部 令和4年新春セミナー・意見交換会 (旭川市、議長)
- 23日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)
- 25日 社会福祉協議会評議員会 (福祉会館、議長)
- 30日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 第3回議会臨時会 (役場、全議員)

## 3月

- 1日 大雪浄化組合議会定例会  
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会 (役場、組合議員)
- 2日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 4日 大雪消防組合議会議員協議会 (美瑛町、組合議員)
- 7日 第1回議会定例会 ~ 10日 (役場、全議員)
- 8日 令和4年度予算特別委員会 (役場、委員・議長)

## 4月

- 6日 比布町立比布中央学校開校式 (学校、全議員)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 21日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

水田交付金は、国の減反政策のもと、水田でのソバ・麦・大豆、牧草などへの転作を支援するもの。人口減少と食の欧米化で日本のコメが毎年20万トン減産させられ、食料自給率は37%、ミニマム・アクセス(最低輸入機会

今年の冬は少雪で雪解けが早かった。さらに融雪剤をまき、雪解け促進、ビニールハウスの横の積もった雪を跳ね上げて、1日も早く雪が溶けるように仕事をしている農家の方の気持ちを思うと、いつまでも日本のコメが食べたいと思う。ご飯中心の食事をしているが、それができなくなる時代が来ている。

## 編集後記

米価下落により「コメ作って飯食えない」と言われていたが、今後は「田あっても耕作できない」となり、安定供給も不安定となり輸入米を食べる日本人になるのではないかと危惧する。

米価下落により「コメ作って飯食えない」と言われていたが、今後は「田あっても耕作できない」となり、安定供給も不安定となり輸入米を食べる日本人になるのではないかと危惧する。

水田交付金は、国の減反政策のもと、水田でのソバ・麦・大豆、牧草などへの転作を支援するもの。人口減少と食の欧米化で日本のコメが毎年20万トン減産させられ、食料自給率は37%、ミニマム・アクセス(最低輸入機会

米」を77万トンも輸入を続けている。

「水田交付金があるから農業収入が補填され営農ができたのに、無くなると営農が続けられなくなる」。離農に拍車がかかることになるのではないだろうか。これでは農家はやっていけないと他職業へ移らざるを得なくなるのではないだろうか。

米価下落により「コメ作って飯食えない」と言われていたが、今後は「田あっても耕作できない」となり、安定供給も不安定となり輸入米を食べる日本人になるのではないかと危惧する。

もっとご飯を食べよう。

(遠藤 ハル子)

議会広報特別委員会  
委員長 安藤 裕子  
副委員長 谷 雅浩  
委員 遠藤 雅浩  
委員 今井 明子  
委員 大熊 幸